



(平成26年1月1日発行) 第43号
発行：福島県鮫川水系ダム管理事務所
福島県いわき市東田町1丁目26-1
☎0246-63-2155 📠0246-63-1666
✉samegawa.damu@pref.fukushima.lg.jp
📞ダム情報テレホンサービス 0246-77-3077

上部通路へ手摺設置 一般開放へ向けて ～高柴ダム～

高柴ダムは、昭和37年の管理開始以来半世紀にわたり、危険回避と事故防止の観点から施設内への一般の方々の立入を制限して来ました。そんな中、広く住民の方々にダムについて理解していただくと共に、自然とのふれあいの場として、ダムを訪れる機会の一助となることを願ってダムカード配布を始めたところ、遠くは北海道、九州まで含め沢山の方がダムを訪れるようになりました。



その結果、訪れた方々からはダムの施設(上部通路)開放を求める声が多く寄せられるようになりました。昨年、職員が同伴することを条件に、森と湖に親しむ旬間(7月21日～31日の10日間)の一環として、初めて一般の方々にも主堤体への入場を認めたところ、来場された方々から、放流ゲートを真下に望めダムの高さを実感できることや、上流側を見渡せば貯水池の広さを目の当たりに出来ることから、年間を通して開放して欲しいとの要望がだされました。



主堤体から望む初夏のたかしば湖

しかし、現在の上部通路の欄干は高さが低く転落する危険性があるため、直ちに開放とはなりませんでしたが、現在の欄干に転落防止用手摺を設置し平成26年4月の開放に向け整備することとしました。



上から見た主ゲート

工事受注者も決定し、これから工事に入ります、手摺が設置された折には主堤体上を自由に利用していただくことが出来ますので、これまでおいでいただいたことがある方も、県内の県営ダムでは最古の高柴ダムへもう一度足を運んでいただきたいと思いません。

※手摺設置工事が終了し一般開放できるようになったときにはHPでお知らせします。

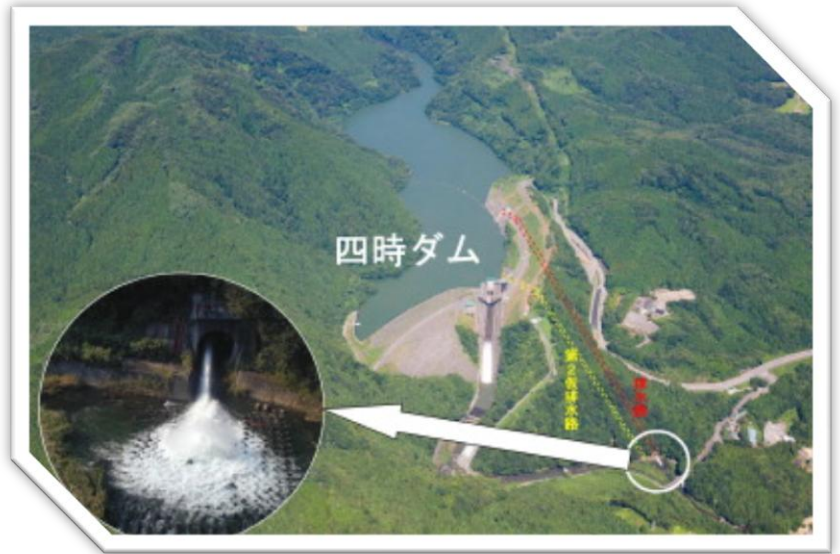
ESCO事業始まる～四時ダム～

小水力発電とダム施設の省エネルギー化を組み合わせた「四時ダム ESCO 事業」を展開するため、平成 25 年 1 月に事業者を公募し、最優秀提案者に選定した日本工営株式会社が出資・設立した「NK 福島水力発電株式会社」と 11 月 22 日に事業実施契約を締結しました。

今後、現地調査、詳細設計を行い、平成 26 年秋ごろから、平成 27 年 4 月発電開始を目指して工事を開始し、電力使用量の削減のため LED 照明（外灯の LED 化）、高効率空調機、高効率給湯器（エコキュート）等を導入し省エネルギー効果の検証に関する業務も実施することになります。

ダム ESCO サービス期間は、平成 27 年 4 月 1 日～平成 46 年 3 月 31 日の 19 年間で、期間中は、東北電力に対するダム管理所等の電気料金の支払いがなくなります。

契約期間終了後は、小水力発電設備等が県に無償譲渡され、売電収入を県、企業局・市水道局が享受するとともに、ダム管理費が削減されます。



ESCO : Energy Service Company の略。
省エネ改修工事による光熱費の削減分で、全ての投資および顧客の利益を確保する事業で、省エネ診断・設計・施工・運転・管理・資金調達等全てのサービスを顧客に提供する。

